

特集 ソフトボール日本代表 工藤環奈選手

INTERVIEW

平川市出身でソフトボール日本代表の工藤環奈選手が、令和4年12月21日に平川市役所を訪れ、自身が所属するソフトボール実業団チーム、ビックカメラ女子ソフトボール高崎ビークイーンが日本女子ソフトボールリーグの新リーグ「JDリーグ2022」にて優勝し、初代チャンピオンとなったことを報告しました。

今回は、工藤環奈選手へのインタビューをご紹介します！



Q ソフトボールを始めたきっかけは何ですか？

兄が野球をやっていて、ボールや球技に馴染みがあったのがきっかけです。平賀東小学校3年生の時にソフトボール部に入部しました。

Q ソフトボールを楽しんでいるところは？

野球と比べてプレーのスピードがあるのが魅力だと感じています。

Q 辛いとき励みにしていることはありますか？

毎回一緒にプレーしているチームの仲間や、勝っても負けても応援してくれるファンの方々、いつも応援してくれる家族の存在が励みになっています。

Q 日本一になった瞬間の気持ちを教えてください。

率直にうれしいと思いました。それと同時に、4連覇がかかり、プレッシャーがある試合だったので、ほっとした気持ちもありました。

Q 今後の目標を教えてください。

チームの目標としては5連覇。個人としては、世界で活躍できる選手になることを目指します。

また、スポーツのまち、ソフトボールが盛んな平川市の子どもたちが憧れる選手になりたいです。

Q 最後に平川市の子どもたちへコメントをお願いします。

今、自分がやっていること、やりたいこと、楽しいと思える趣味などに、どんどん取り組んで、どんどん挑戦してってもらいたいです。



—profile—

平賀東小学校時に本格的にソフトボールを始め、平賀東中学校2年生の時に、全国中学校体育大会に出場。その活躍が認められ、中学3年生の時には16歳以下の日本代表に東北から唯一選出。その後、ソフトボールの名門である岩手県花巻東高校に進学。

2018年より実業団チームのビックカメラソフトボール高崎ビークイーンに入団。その年の19歳以下の日本代表として、第7回アジア女子ジュニアソフトボール選手権大会に出場し、大会MVP、ホームラン王、打点王、ベストスラッガー賞を受賞。5年目である2022年は、国内の新リーグとなるJDリーグにおいて、東地区3位となる打率0.356、本塁打10本、打点23点と大活躍。チームのJDリーグ初代チャンピオンに貢献し、遊撃手としてベストナインを受賞。

また、2022年7月にアメリカで開催された国際大会ワールドゲームズに日本代表として出場し、準優勝の成績を収める。今後が期待されるソフトボール選手。